

日本におけるアパレル企業の 店舗展開の現状分析

～ファストファッション企業のしまむら～

東海大学 情報通信学部 経営システム工学科

川崎香織

目次

1. 研究背景

- (1)日本アパレル業界 売上高ランキング
- (2)ユニクロとしまむらの売上高と店舗数
- (3)都道府県ごとのユニクロとしまむらの店舗数
- (4)しまむらの特徴

2. 研究目的

3. 使用するデータ概要

4. 分析の流れ

5. クラスター分析

- (1)クラスター分析の結果
- (2)エリアごとの特徴

6. 重回帰分析

- (1)重回帰分析の結果～エリア2～
- (2)重回帰分析の結果～エリア3～

7. 提案

- (1).提案
～エリアごとの都道府県総面積～
- (2).提案
～エリアごとの出店していくと
良い都道府県～

8. まとめと考察

9. 今後の課題

参考文献



1. 研究背景

1(1). 日本アパレル業界 売上高ランキング

1位. ファーストリテイリング (Appe①) ... 1兆6,817億円

2位. しまむら (Appe①) ... 5,460億円

3位. ワールド ... 2,782億円

4位. オンワードHD ... 2,635億円

5位. 青山商事 ... 2,402億円 (2016-2017年^[1])

ファーストリテイリングは『ユニクロ』とより安価な価格帯商品を多く取り扱う『ジーユー』を展開している

→ 上位2位と3位以下との売上高の圧倒的な差

上位2位の共通点：ファストファッション系企業 (Appe②)
... 商品価格が安価・トレンド重視

1(2).ユニクロとしまむらの売上高と店舗数

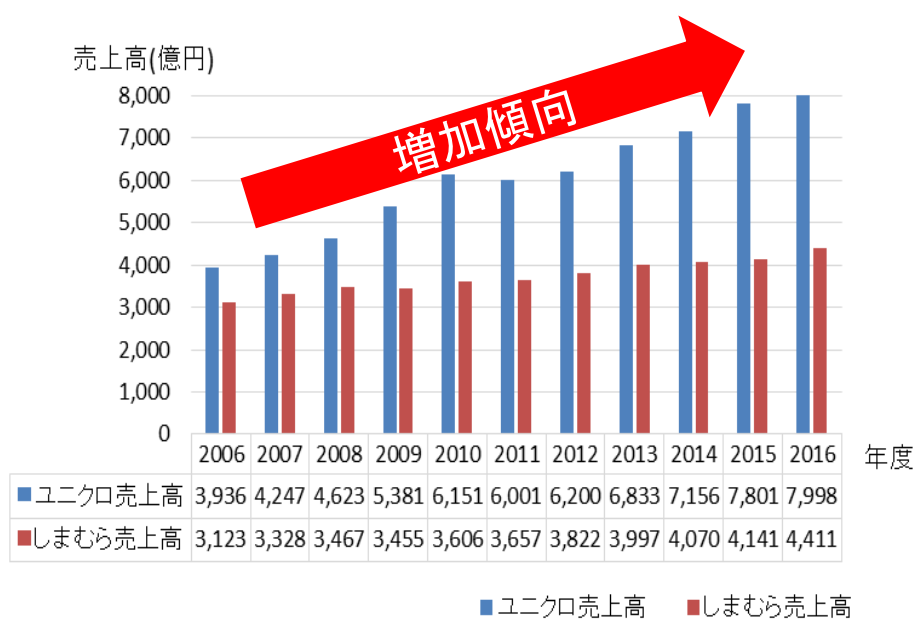


図1.ユニクロとしまむらの売上高の推移^{[2][3]}

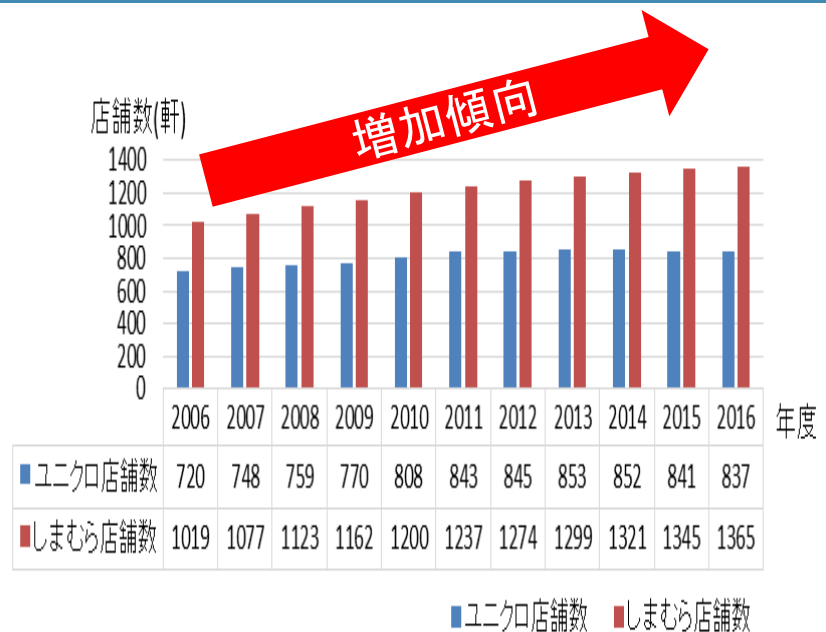
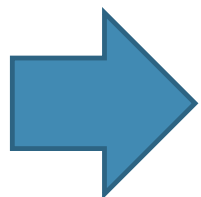
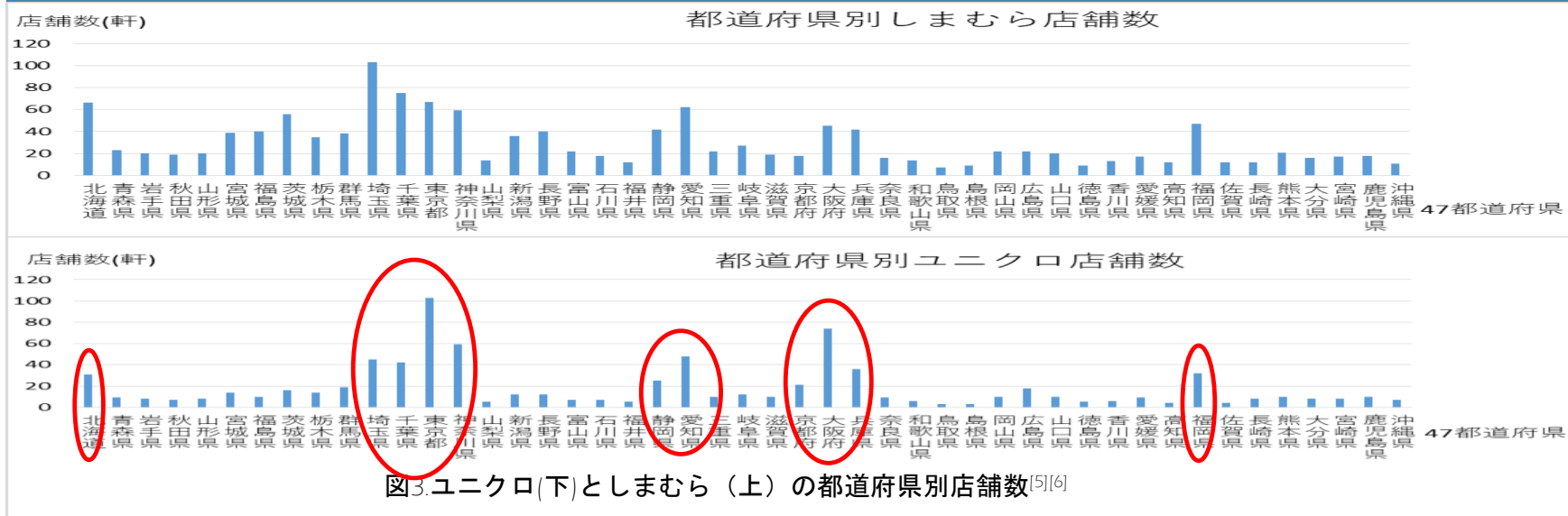


図2.ユニクロとしまむらの店舗数の推移^{[2][4]}



ファストファッション企業である
二社ともに堅調な推移である

1(3).都道府県ごとのユニクロとしまむらの店舗数



ユニクロ...人口数が上位13位以内である都道府県に店舗数が多く、
それ以外の地域との差が大きい^[7]

➡ **傾向** 主要都市に集中して出店

しまむら...ユニクロに比べて全国にまばらに分布している

➡ **傾向** しまむらは**郊外(地方など人口が少ない地域)**にも出店!

1(4).しまむらの特徴

■ しまむらは郊外のロードサイドを中心に来店

1000m²程度の広さの店舗を構える^[8]

➡ 1990年代後半以降、景気低迷や賃金の伸び悩みで、衣料品がなかなか売れない時代が続く中でも安定して成長を続けてきた



【商品の特徴】

婦人服紳士服,紳士服,子供服,雑貨,靴など
約5万点のアイテムを陳列
中心価格で1000~3000円,1000円未満の商品が多い➡「低価格戦略」

どうして、しまむらは郊外にも多く出店しているのか？

2.研究目的

研究目的

売上高は上昇傾向のまま,今後出店展開をしていくのに適する都市エリア以外の都道府県を提案する

【具体的には】

- 各出店エリア(都道府県)の特徴を把握する
- 1位のユニクロと違い,売上収益を落とさずに郊外に店舗拡大をするのに,各出店エリアの何が影響しているのか?

= 店舗展開の背景 「各エリアごとの店舗数増加に対する要因」を探る

3.使用するデータ概要

- しまむらの店舗数^[6]
- 0歳～70代男女の人口比率^[9]
- 昼夜間の人口数^[10]
- 人口密度^[11]
- 世帯人員別世帯数(1人,2人,3人,4人,5人以上)^[12]
- しまむらの売場面積^[13]

※ここでアパレル業界売上1位ユニクロの店舗数が上位5位までの都道府県（東京都・大阪府・神奈川県・愛知県・埼玉県）は競合社が多いエリアであるためこれらの都道府県のデータは対象外とする

→【すべて42都道府県のデータ】

4.分析の流れ

使用するデータ: 0歳~70代男女の人口比率^[9],
昼夜間人口数^[10],人口密度^[11],
世帯人員別世帯数^[12],しまむらの売場面積^[13]

都道府県を階層
クラスター分析
してエリア分け
をする

エリアごとに
重回帰分析を行う

重回帰分析の結果(係数
と有意確立)を読み取り,
それぞれのエリアの出
店増加の要因を把握して,
今後の出店エリアの
提案を行う

使用するデータ: 目的変数→しまむらの店舗数^[6]
説明変数→昼夜間人口数^[10],世帯人員別世帯数^[12]



5. クラスタ分析

5(1). クラスタ分析の結果

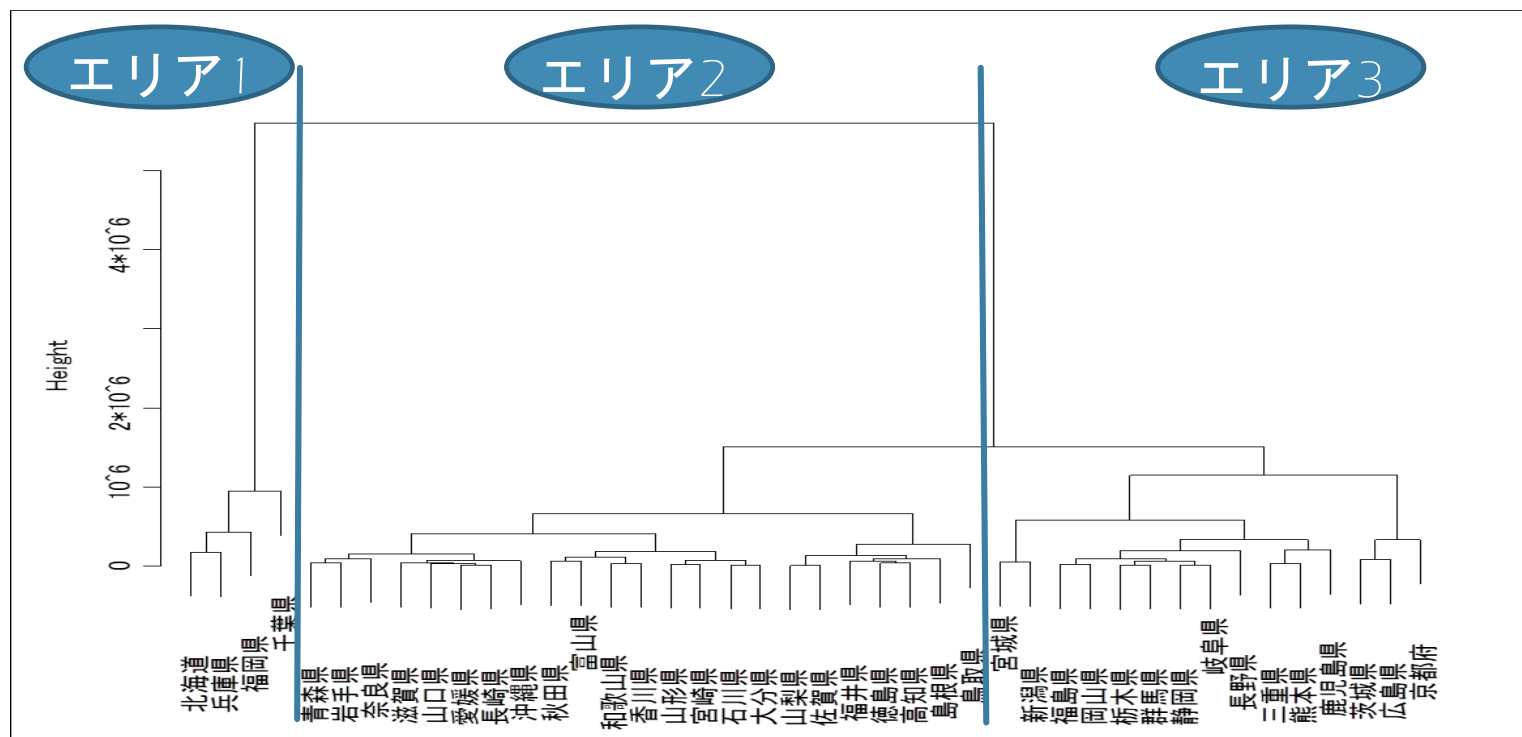


図4. クラスタ分析の結果

階層クラスタ分析(ward法)で3つのエリアに分けられた

5(2).エリアごとの特徴

クラスター分析で分けたエリアごとの特徴を見るためExcelで基礎統計を行った

→その結果,エリア1の人口密度^[11]と昼間人口数^[10]と夜間人口数^[10]の
3つの平均値が最も高かった

=**エリア1は「栄えている地域」といえる**

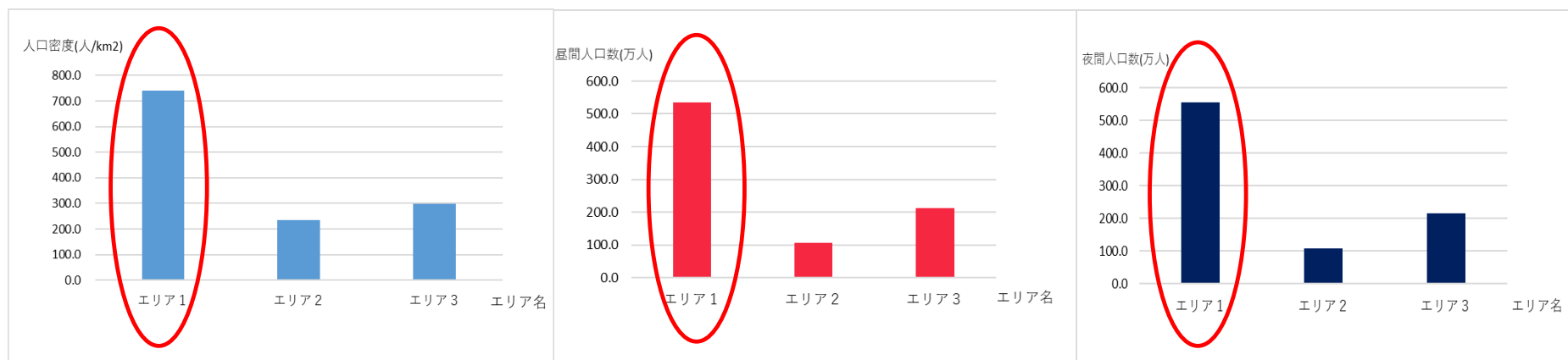
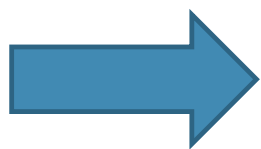


図5.エリア1の人口密度(左)・昼間人口数(真ん中)・夜間人口数(夜間人口数)それぞれの平均値



本研究分析の趣旨とは異なるためエリア1は分析
から除き,エリア2・エリア3のみで分析を行う



6.重回帰分析

6(1).重回帰分析の結果～エリア2～

エリア2

(人口密度・昼夜間人口数「小」)

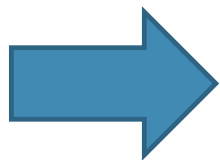
…青森県,岩手県,奈良県,滋賀県,山口県,
愛媛県,長崎県,沖縄県,秋田県,富山県,
和歌山県,香川県,山形県,宮崎県,石川県,
大分県,山梨県,佐賀県,福井県,徳島県,
高知県,島根県,鳥取県 (計23県)

■ $R^2:0.67$

■ 回帰式: $y = -0.2614x_1 - 0.0239x_2 + 0.4145x_3 + 0.0392x_4 - 0.3962x_5 + 1.3454x_6 - 1.0498x_7 + 1.8809$

表1. エリア2の重回帰分析結果(Appe③)

モデル	係数	有意確立
(定数)	1.8809	0.5241
世帯人員別世帯数(1人)	-0.2614	0.0613
世帯人員別世帯数(2人)	-0.0239	0.9357
世帯人員別世帯数(3人)	0.4145	0.4317
世帯人員別世帯数(4人)	0.0392	0.9067
世帯人員別世帯数(5人以上)	-0.3962	0.5975
昼間人口数(万人)	1.3454	0.0087
夜間人口数(万人)	-1.0498	0.3773



エリア2では、
昼間人口数が多いと店舗数が増えることが分かった

6(2).重回帰分析の結果～エリア3～

エリア3

(人口密度・昼夜間人口数「中」)

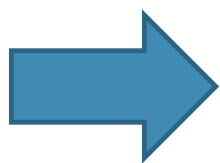
…宮城県,新潟県,福島県,岡山県, 栃
木県,群馬県,静岡県,岐阜県,長野県,三
重県,熊本県,鹿児島県,茨城県, 広
島県,京都府 (計15県)

• $R^2: 0.85$

• 回帰式: $y = -0.1090x_1 - 0.4007x_2 + 1.8545x_3 - 1.2799x_4 - 0.2281x_5 - 0.7712x_6 + 0.8718x_7 + 15.0974$

表2.エリア3の重回帰分析結果 (Appe④)

モデル	係数	有意確立
(定数)	15.0974	0.2838
世帯人員別世帯数(1人)	-0.1090	0.2287
世帯人員別世帯数(2人)	-0.4007	0.0382
世帯人員別世帯数(3人)	1.8545	0.0237
世帯人員別世帯数(4人)	-1.2799	0.0342
世帯人員別世帯数(5人以上)	-0.2281	0.3789
昼間人口数(万人)	-0.7712	0.4521
夜間人口数(万人)	0.8718	0.3979



エリア3では,

3人の世帯数が多いと店舗数が増えることが分かった



7. 提案

7(1).提案～エリアごとの都道府県総面積～

今後出店に適している都道府県を提案するうえで、
まず「**エリア2の昼間人口数が多い上位5位までの都道府県**」と「**エリア3の3人の世帯数が多い上位5位までの都道府県**」の2つのエリアごとの都道府県の総面積をランキング付けした

理由

店舗数を増加させるにあたって、都道府県の総面積が小さい場所ではしまむらの店舗が飽和状態になってしまうため、なるべく総面積が広い都道府県に出店すべきと考える

表3. エリア2の中で都道府県の総面積(km²)ランキング^[14]

順位	都道府県名	面積 (km ²)
1位	広島県	8479.4
2位	静岡県	7252.6
3位	宮城県	6858.5
4位	茨城県	6096.9
5位	京都府	4612.2

表4. エリア3の中で都道府県の総面積(km²)ランキング^[14]

順位	都道府県名	面積 (km ²)
1位	山口県	6112.3
2位	愛媛県	5676.1
3位	長崎	4132.3
4位	滋賀	3767.0
5位	沖縄	2281.0

それぞれのエリアの最も総面積が大きい都道府県は
エリア2では広島県・エリア3では山口県である^[14]

7(2).提案～エリアごとの出店していと良い都道府県～

分析結果を踏まえた上で「エリア2の昼間人口数が多い都道府県ランキング」と「エリア3の3人の世帯数が多い都道府県ランキング」のそれぞれのエリアの都道府県店舗数^[5]と、それぞれのエリアの「都道府県の総面積(km²)ランキング^[14]」を照らし合わせ

表5. エリア2の昼間人口数が多い上位5位までのランキングと都道府県別店舗数

順位	都道府県名	店舗数
1位	静岡県→	42
2位	茨城県→	56
3位	広島県→	22
4位	京都府→	18
5位	宮城県→	39

表6. エリア3の3人の世帯数が多い上位5位までのランキングと都道府県別店舗数

順位	都道府県名	店舗数
1位	沖縄県→	11
2位	山口県→	20
3位	愛媛県→	17
4位	長崎県→	12
5位	滋賀県→	19

提案

都道府県の面積の広さ^[14]と店舗数^[5]の2つの面から考慮するとエリア2では**広島県**, エリア3では**山口県**から出店していくのがよいと考える

8.まとめと考察

- 人口密度と昼夜間人口数の値が1番小さいエリア2では、**昼間人口数が多いと店舗数が増える**ことが分かった

➡ 3つのエリアの中で最も都市化していないと言えるこのエリアでは、日中に外出している人数が多くなければ売り上げ拡大につながらないと考えられる

- 人口密度と昼夜間人口数の値が中間の大きさだったエリア3では、**3人の世帯数が多いと店舗数が増える**ことが分かった

➡ 3人の世帯では父・母・子供の3人構成が多いと思う

しまむらではベビー・子供用品のラインナップが豊富なため、それらの商品を購入する3人の世帯数が多く、売り上げに貢献し、その結果店舗数の増加につながっているのではないかと考える

9. 今後の課題

- 本研究の分析を踏まえて、売り上げを目的変数として 重
回帰分析を行い、分析モデルの正確性を高める
- エリア2では昼間人口数、エリア3では3人の世帯数(父・母・
子供の3人家族)に関連する変数を探し、変数項目を増やし、分
析の視点を変える
- 広島県と山口県の市町村ごとの特徴(人口・世帯数・経済状
況など)を把握する
- それぞれのエリアの特徴を踏まえて主成分分析を行い、 出
店すべき要因を見つける

参考文献

- [1] 業界動向 「アパレル業界 売上高ランキング」
(<http://gyokai-search.com/3-apparel.htm>)
(最終閲覧日:2017/10/12)
- [2] FAST RETAILING 「グループ事業別業績」
(<https://www.fastretailing.com/jp/ir/financial/outlets.html>)
(最終閲覧日:2017/10/12)
- [3] しまむらグループ 「財務・株式データ」決算概要2006～2016年度
(<https://www.shimamura.gr.jp/finance/data/>)
(最終閲覧日:2017/10/12)
- [4] しまむらグループ 「売上速報」2006～2016年度
(<https://www.shimamura.gr.jp/finance/sales/?y=2003&g=1>) (最終閲覧日:2017/10/12)
- [5] ユニクロ 店舗検索
(<http://www.uniqlo.com/jp/shop/>)(最終閲覧日:2017/10/12)
- [6] しまむらグループ 店舗検索
(<https://www.shimamura.gr.jp/shop/>)(最終閲覧日:2017/10/12)
- [7] 総務省統計局 「都道府県別人口と人口増減率」平成27年
(<http://www.stat.go.jp/data/nihon/02.htm>)
(最終閲覧日:2017/10/12)
- [8] 店新・成長モデルで復活」日経BP社,p62-66 (2016.04.4)
- [9] 総務省統計局 「人口推計」平成27年10月1日
(<http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/List.do?lid=000001163203>) (最終閲覧日:2017/10/12)
- [10] 総務省統計局 「昼夜間人口比率」
(<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.htm>) (最終閲覧日:2017/10/12)
- [11] 総務省統計局 「人口推計 都道府県別人口密度」平成27年
(http://www.stat.go.jp/naruhodo/c1data/02_03_stt.htm) (最終閲覧日:2017/10/12)
- [12] 総務省統計局 「都道府県,世帯人員別一般世帯数と世帯の種類別世帯人員」平成27年
(<http://www.stat.go.jp/data/nihon/02.htm>) (最終閲覧日:2017/10/12)
- [13] しまむらグループ 「株式会社しまむら 第64期 決算概要」
(https://sslimg.shimamura.gr.jp/finance/file/63_04_gaiyou.pdf) (最終閲覧日:2017/10/12)
- [14] 総務省統計局 「都道府県別行政区画と面積」平成27年10月1日
(<http://www.stat.go.jp/data/nihon/01.htm>) (最終閲覧日:2017/10/12)



Appendix

①今回取り上げたファストファッション企業

〈ファーストリテイリング〉

- UNIQLO...実用（カジュアル）衣料品の生産販売を一括して展開する日本企業である。ファーストリテイリングの完全子会社。
- GU...GU（ジーユー）は、ユニクロの低価格帯ブランドです。2006年、ダイエー南行徳店が1号店。

〈しまむら〉

- ファッションセンターしまむら...ファッションセンターしまむらはファミリー層がターゲット。リーズナブルに最新ファッションが楽しめるということで、近年では十代の若者にも支持されている。子供からお年寄りまで、そして、デイリーユースからフォーマルまで、多彩な品揃えを提供している。

出典:<http://wakarukoto.com/?p=9378>

②ファストファッションとは

- 最新の流行を採り入れながら低価格に抑えた衣料品を、短いサイクルで世界的に大量生産・販売するファッションブランドやその業態をさす。
「早くて安い」ファストフードになぞらえて、2000年代半ばからそう言われるようになった。
- トレンドを反映した新商品を次々に投入し、売り場を更新。顧客の要望も商品開発に素早く採り入れ、客はいつ来店しても常に一番旬の服が手頃な価格で買える→買いたくなるという、スピード勝負のビジネスモデルである。

出典:<http://globe.asahi.com/feature/090622/memo/01.html>

③S-PLUSによる重回帰分析の結果～エリア2～

```
*** Linear Model ***
Call: lm(formula = `期末店舗数` ~ `総数 (夜間人口: 万人)` + `総数 (昼間人口: 万人)` +
`世帯人員別世帯数 一人` + `世帯人員別世帯数 二人` +
`世帯人員別世帯数 三人` + `世帯人員別世帯数 四人` +
`世帯人員別世帯数 五人以上`, data = `グループ2.2`, na.action =
na.exclude)
Residuals:
    Min     1Q  Median     3Q     Max
-4.907 -1.504 -0.2866  2.036  4.596
Coefficients:
                Value Std. Error t value Pr(>|t|)
(Intercept)    1.8809   2.8834   0.6523  0.5241
`総数 (夜間人口: 万人)` -1.0498   1.1539  -0.9098  0.3773
`総数 (昼間人口: 万人)`  1.3454   0.4466   3.0130  0.0087
`世帯人員別世帯数 一人` -0.2614   0.1292  -2.0228  0.0613
`世帯人員別世帯数 二人` -0.0239   0.2917  -0.0820  0.9357
`世帯人員別世帯数 三人`  0.4145   0.5130   0.8080  0.4317
`世帯人員別世帯数 四人`  0.0392   0.3290   0.1192  0.9067
`世帯人員別世帯数 五人以上` -0.3962   0.7344  -0.5395  0.5975
Residual standard error: 2.958 on 15 degrees of freedom
Multiple R-Squared: 0.6683    Adjusted R-squared: 0.5136
F-statistic: 4.318 on 7 and 15 degrees of freedom, the p-value is 0.008361
```

④S-PLUSによる重回帰分析の結果～エリア3～

```
*** Linear Model ***  
Call: lm(formula = `期末店舗数` ~ `総数 (夜間人口: 万人)` + `総数 (昼間人口: 万人)` +  
`世帯人員別世帯数 一人` + `世帯人員別世帯数 二人` +  
`世帯人員別世帯数 三人` + `世帯人員別世帯数 四人` +  
`世帯人員別世帯数 五人以上`, data = `グループ3.2`, na.action =  
na.exclude)  
Residuals:  
    Min      1Q  Median      3Q     Max  
-7.55 -2.819  0.2992  2.716  7.502  
Coefficients:  
                Value Std. Error  t value Pr(>|t|)  
(Intercept)  15.0974   13.0082    1.1606  0.2838  
`総数 (夜間人口: 万人)`  0.8718    0.9684    0.9002  0.3979  
`総数 (昼間人口: 万人)` -0.7712    0.9687   -0.7961  0.4521  
`世帯人員別世帯数 一人` -0.1090    0.0827   -1.3190  0.2287  
`世帯人員別世帯数 二人` -0.4007    0.2101   -1.9070  0.0982  
`世帯人員別世帯数 三人`  1.8548    0.6447    2.8771  0.0237  
`世帯人員別世帯数 四人` -1.2799    0.4879   -2.6234  0.0342  
`世帯人員別世帯数 五人以上` -0.2281    0.2429   -0.9392  0.3789  
Residual standard error: 5.979 on 7 degrees of freedom  
Multiple R-Squared: 0.8541    Adjusted R-squared: 0.7083  
F-statistic: 5.855 on 7 and 7 degrees of freedom, the p-value is 0.01637
```